

生物学を中心に据えた融合的アプローチによる挑戦！

近年の生命科学では、他分野との融合なしには解決の困難な課題も少なくありません。当セミナーでは、Lightning talkによる研究成果の発表や課題・問題の提起を行ない、多様な分野に触れることで、問題解決へのブレイクスルーや学際的な研究へ発展する糸口をつかめるように参加者が一緒になって解決法を考えます。

【セミナー詳細】

開催日／2013.10.3 [木]～4 [金] 15:00-18:00

場所／学際科学フロンティア研究所 1階 大セミナー室

【プログラム】（両日とも同じ）

15:00～16:00／趣旨説明＋口頭発表

16:00～18:00／ポスター発表＋情報交換会（懇親会）

プログラム [10月3日]

●口頭発表（15:00-16:00）[発表＋質疑応答4分、演者交代1分]

時刻	発表者	学年（所属）	講演タイトル
15:10-15:15	安西 眸	D3（ライフ）	Design optimization for intracranial stent using lattice Boltzmann method
15:15-15:20	高橋 亮	D2（ライフ）	Mass spectrometric approach to discover biomarkers of oxidative stress
15:20-15:25	佐藤 翔	D2（ライフ）	G遺伝子欠損型狂犬病ウイルスベクターによる神経ネットワークの構造と機能の同時観察法の開発
15:25-15:30	山崎 馨	D2（先端）	計算機シミュレーションで見る化学反応：単一巨大分子のX線構造解析を目指して
15:30-15:35	佐藤大樹	D1（ライフ）	生体－金属相互作用を考慮した生体材料からの金属溶出抑制法の開発
15:35-15:40	高橋広樹	D1（ライフ）	高フレームレート超音波計測を用いた心臓内血流イメージング
15:40-15:45	坪子侑佑	D1（ライフ）	循環シミュレータによる肺動脈再建用人工弁の血行動態評価
15:45-15:50	五十嵐敬幸	M2（ライフ）	多能性間葉系幹細胞（Muse細胞）における分化メカニズムの解明
15:50-15:55	黒田健吾	M2（ライフ）	抗菌ペプチドの可能性～癌への応用について～
15:55-16:00	菊田里美	M2（ライフ）	研究紹介

●ポスター発表

発表者	学年（所属）	講演タイトル
野村直生	D3（ライフ）	Developmental mechanisms for different number of digits in chicken limbs
中永景太	D3（ライフ）	細胞内型ホスホリパーゼA1の機能解析
酒寄信幸	D2（ライフ）	You are what your mother ate? -Effects of lipids on brain development-
大山一徳	D2（ライフ）	乳腺組織におけるR-spondin/LGR4シグナルの機能解析
石黒 純	D2（ライフ）	新規リゾホスファチジルセリン受容体の機能解析
金井 駿	D2（情報）	強磁性金属における電界誘起磁化反転
山崎 馨	D2（先端）	計算機シミュレーションで見る化学反応：単一巨大分子のX線構造解析を目指して
長沼史登	D1（ライフ）	新規モノアミントランスポーターPMATの機能解析と阻害剤の開発
五十嵐敬幸	M2（ライフ）	多能性間葉系幹細胞（Muse細胞）における分化メカニズムの解明
菊田里美	M2（ライフ）	研究紹介
佐藤達也	助教（ライフ）	Tet-Onシステムと電気穿孔法を用いた神経細胞における遺伝子発現制御法の開発

プログラム [10月4日]

●口頭発表 (15:00-16:00) [発表+質疑応答 4分、演者交代 1分]

時刻	発表者	学年(所属)	講演タイトル
15:05-15:10	小林穂高	D3(ライフ)	メンブレントラフィックの制御因子Rabによる神経突起伸長メカニズムの解明
15:10-15:15	市地 慶	D3(ライフ)	腫瘍位置変動の時変予測モデルに基づく超高精度追尾放射線照射法に関する研究
15:15-15:20	藤原佐知子	D1(ライフ)	細胞の力覚応答におけるSoloの機能解明
15:20-15:25	安田 惇	D1(ライフ)	超音波が切り拓く未来のがん治療
15:25-15:30	武石直樹	D1(ライフ)	微小循環内系における細胞接着の力学的条件の解明に向けたmarginationの研究
15:30-15:35	宮川泰明	M2(ライフ)	計算力学を用いた胃の機能解明への挑戦
15:35-15:40	増子恵太	M2(ライフ)	ショウジョウバエの複眼を翅に器官改変できる遺伝子winged eyeによるエピジェネティックな制御機構
15:40-15:45	小林記緒	M2(ライフ)	社会的生育環境ストレスによる雄性生殖細胞系列と次世代へのエピジェネティック影響の検討
15:45-15:50	須田亜弥子	M2(ライフ)	環境変化に対する太平洋マダラの進化的応答
15:50-15:55	高 俊弘	助教(ライフ)	小胞体ストレスと糖尿病および血管合併症に対する影響について
15:55-16:00	高橋佑磨	助教(ライフ)	集団内の多様性と集団の利益

●ポスター発表

発表者	学年(所属)	講演タイトル
小林穂高	D3(ライフ)	メンブレントラフィックの制御因子Rabによる神経突起伸長メカニズムの解明
原田龍一	D3(ライフ)	アミロイドーシスの近赤外蛍光イメージングの実現性とその課題
池田裕樹	D2(ライフ)	トマトの果実品質と機能性に関する研究
藤原佐知子	D1(ライフ)	細胞の力覚応答におけるSoloの機能解明
片山雅史	D1(ライフ)	黒毛和種由来ウシiPS細胞樹立への挑戦
神山菜美子	D1(ライフ)	脊椎動物における骨格形態の多様化メカニズム—ゲノムから発生、そして形態多様性へ—
石田森衛	M2(ライフ)	メラノソームの輸送メカニズムの研究とコンピューターサイエンスの融合
増子恵太	M2(ライフ)	ショウジョウバエの複眼を翅に器官改変できる遺伝子winged eyeによるエピジェネティックな制御機構
小林記緒	M2(ライフ)	社会的生育環境ストレスによる雄性生殖細胞系列と次世代へのエピジェネティック影響の検討
松原 遼	M2(ライフ)	発生における遺伝子発現調節—Shh遺伝子を例に—
藤村維子	助教(ライフ)	生殖細胞の守護神p53ファミリー遺伝子による発達過程生殖細胞の制御メカニズム

問い合わせ先

国際高等研究教育機構 (senryaku@iicare.tohoku.ac.jp)